
令和4年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和4年3月4日

質問者（質問順）

- 1 みわ 智恵美 委員（共産党）
- 2 長谷川 琢磨 委員（自民党）
- 3 酒井 誠 委員（自民党）
- 4 田中 ゆき 委員（立憲党）
- 5 尾崎 太 委員（公明党）

国際局

局 別 審 査

1 み わ 智恵美 委員（共産党）

1 核兵器廃絶に向けた取組について

- (1) 核兵器禁止条約の意味をどのように認識しているのか伺いたい。
- (2) 核兵器廃絶に向け、非核平和都市宣言やモニュメント設置など、市として具体的な行動をとるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 核兵器廃絶に向けた平和首長会議の一員としての取組について、副市長に伺いたい。
- (要望) 市民に見える形で、世界にアピールできるよう、核兵器廃絶に向けた取組を進めることを要望する。

2 外国人材の受入環境整備について

- (1) 国内で在留資格などに起因した深刻な事態が発生していることについて所感を伺いたい。
- (2) 横浜で暮らす外国人から寄せられている相談内容について伺いたい。
- (3) 外国人から寄せられた相談への対応について伺いたい。
- (4) 相談内容が施策として生かされたことがあれば伺いたい。
- (5) 多文化共生社会を実現させるための課題と決意について、副市長に伺いたい。

3 自治体外交について

- (1) 姉妹都市等からの記念品の、現在の展示場所について伺いたい。
- (2) 姉妹都市等からの記念品を、市民が日常的に見ることができるような展示予定があるのか伺いたい。
- (3) 姉妹都市等及び姉妹港等の件数について伺いたい。
- (4) 姉妹都市の一つであるウクライナのオデッサ市とのこれまでの交流について伺いたい。
- (5) 本市はフランクフルトに海外事務所があるが、今回のような有事が発生した

場合の海外事務所の役割について伺いたい。

(6) 自治体外交は、「横浜市国際平和の推進に関する条例」の理念を基本に進めるべきと考えるが、副市長に見解を伺いたい。

(7) オデッサ市へのメッセージなど、何か働きかけができないか、副市長に伺いたい。

2 長谷川 琢 磨 委員（自民党）

1 予算編成の基本的な考え方について

- (1) 令和4年度国際局予算編成の考え方について伺いたい。
- (2) 令和4年度国際局予算のポイントについて伺いたい。

2 Y-P O R T 事業について

- (1) Y-P O R T センター公民連携オフィスでの主な活動内容について伺いたい。
 - (2) 本市とY U S A のそれぞれの役割について伺いたい。
 - (3) Y U S A 会員企業等へのインフラビジネス支援実績について伺いたい。
 - (4) 令和4年度のY U S A と連携した主な取組について伺いたい。
- (意見) 令和4年度は地方創生推進交付金の最終年度に当たる。令和5年度以降にY U S A や市内企業が主体的に取り組んでいけるよう体制を強固なものにしていくため、今後も一層の連携強化と事業推進をお願いしたい。

3 国際協力推進事業について

- (1) 横浜国際協力センターに入居する国際機関とのこれまでの連携実績について伺いたい。
 - (2) 国際機関の知名度向上が課題と考えるが、見解を伺いたい。
 - (3) 令和4年度の国際機関との連携事業について伺いたい。
- (意見) 食料問題を扱う3つの国際機関が横浜にあることを活用し、食品ロス削減など身近なテーマを取り上げた国際協力を進めてほしい。

4 シティネット事業について

- (1) これまでの防災分科会での主な活動について伺いたい。
- (2) 防災分野のみならず、幅広い活動を展開していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) シティネット事業の令和4年度の取組について伺いたい。

5 庁内国際人材育成事業について

(1) 提案型海外都市派遣研修のこれまでの実績について伺いたい。

(2) 提案型海外都市派遣研修に対する評価について伺いたい。

(3) 国際局は庁内国際人材を計画的かつ戦略的に育成するべきと考えるが、見解を伺いたい。

(意見) オンラインの活用も視野に入れながら、より幅広い職員に研修機会が提供されることを期待する。

6 外国人への情報提供・相談対応について

(1) 災害時における情報発信の一元化への取組について伺いたい。

(2) 新型コロナウイルス感染症収束後も見据えて、短期滞在者への対応も含めた取組を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(3) 区役所窓口の通訳タブレットの利用状況について伺いたい。

(4) 経済局が実証実験に取り組んだ「わかりやすい字幕表示システム」を区役所窓口の多言語対応にも活用すべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 国際局の役割について

(1) コロナ禍を踏まえた国際局の役割に係る認識について伺いたい。

(2) 国際施策推進にあたり、区局間のより一層の連携が重要と考えるが、副市長の見解を伺いたい。

(要望) 次期中期計画検討においても、国際施策の展開に関する市の意気込み、戦略をしっかりと掲げ、全庁一丸となって取り組んでいただくよう要望する。

3 酒 井 誠 委員（自民党）

1 国際交流ラウンジについて

- (1) 国際交流ラウンジを設置する意義について伺いたい。
- (2) 磯子区新設の国際交流ラウンジで見込んでいるニーズについて伺いたい。
- (3) 多文化共生を推進するうえで、国際交流ラウンジを新設することによる効果について伺いたい。
- (4) 横浜らしい共生社会の実現に向けて、未設置区への整備を含め、国際交流ラウンジの機能強化に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 パスポートセンター運営事業について

- (1) アンケート結果につながった、センター南パスポートセンター窓口での工夫について伺いたい。
- (2) センター南パスポートセンターの場所のわかりにくさを解消するための対応について伺いたい。
- (3) 新型コロナウイルス感染症収束後のパスポート申請者急増への備えについて伺いたい。
- (4) パスポートのオンライン申請による利便性の向上について伺いたい。
- (5) パスポートのオンライン申請導入に伴う申請者への対応について伺いたい。
- (意見) 引き続きパスポートセンターのサービス向上に努めてほしい。

3 ムンバイ事務所の移転と今後の活動について

- (1) タイへ進出している市内企業の規模及び業種について伺いたい。
- (2) これまでに本市とタイが連携した取組実績について伺いたい。
- (3) 最終的に事務所の移転先をバンコクに決定した経緯について伺いたい。
- (4) 事務所をバンコクへ移転した後も、インド及びムンバイとの関係を更に発展させる取組を実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 事務所の移転後における、経済活力を取り込む上でのインド・東南アジアと

の向き合い方について、副市長に伺いたい。

(意見) 歴代のムンバイ事務所長が築き上げてきた、インドやムンバイとの経済、友好関係を更に深めていってほしい。

4 海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・SDGsの推進について

(1) 海外事務所の活動状況と今後の取組について伺いたい。

(2) 新規事業を実施する狙いについて伺いたい。

(3) 海外スタートアップとの連携の進め方について伺いたい。

(4) 市内企業とのマッチング機会の創出の仕方について伺いたい。

(5) 海外活力の取り込みを通じて全市的にオープンイノベーションを推進すべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。

5 ウクライナの状況について

(1) ロシアのウクライナ侵攻により、フランクフルト事務所のあり方に変化があったか伺いたい。

4 田 中 ゆ き 委員（立憲党）

1 外国人材から「選ばれる国際都市・横浜」につなげるための調査・検討について

- (1) これまでの「選ばれる国際都市・横浜」への取組について伺いたい。
 - (2) 外国人材から「選ばれる国際都市・横浜」につなげるための調査・検討を予算化した経緯・背景について伺いたい。
 - (3) 調査・検討の手法・進め方について伺いたい。
 - (4) 調査・検討結果の施策への反映について伺いたい。
- (要望) 調査・検討結果から得られた結果を、有効に施策に反映することを要望する。

2 国際プロモーションの強化について

- (1) これまでの国際プロモーションの課題について伺いたい。
 - (2) 国際プロモーションの取組と成果について伺いたい。
 - (3) 国際プロモーションにおける海外事務所の活用について伺いたい。
 - (4) 世界の人や企業から選ばれる都市に向けた国際プロモーションの推進への考えについて、副市長に伺いたい。
- (意見) 次世代を担う若い人材、留学生や、先見性のある企業が、世界から横浜に集うような都市ブランドの定着に向けたプロモーションをお願いしたい。

3 市内小中学校とアフリカとの交流について

- (1) コロナ禍における「アフリカとの一校一国」の取組実績について伺いたい。
 - (2) コロナ禍でアフリカとの交流を進めるための工夫について伺いたい。
 - (3) 市内小中学校とアフリカとの交流に参加する児童生徒に期待することについて伺いたい。
- (要望) 今後もより多くの児童生徒がアフリカとの交流に参加できるよう、アフリカ各国との連携をさらに深め、様々な交流機会を創出することを要望する。

4 多文化共生社会の推進について

- (1) 国際交流ラウンジ、Y O K E へのつながりが持てない外国人のいることの認識と支援について伺いたい。
- (2) コロナ禍で活用され始めた、市民ボランティアのリモート通訳・相談の実績と評価について伺いたい。
- (3) 地域課題解決専任スタッフに期待する役割と地域への効果について伺いたい。
- (4) 専任スタッフ設置の評価・課題について伺いたい。
- (5) 地域全体で外国人の生活全般の困りごとをワンストップで解決できる仕組みの確立について伺いたい。
- (6) ラウンジ未整備区のニーズの把握と整備への反映について伺いたい。
(要望) 多文化共生の地域活動への支援を、引き続き進めるよう要望する。

5 国際平和学習プログラムについて

- (1) 国際平和学習プログラムを始めた経緯について伺いたい。
- (2) プログラムを受講した子どもたちの感想と国際局としての評価について伺いたい。
- (3) 外国人も含め市民全体に国際平和について学ぶ機会をつくることが大切と考えるが、見解を伺いたい。
(要望) より多くの世代・市民が国際平和について考え、主体的に行動できるよう、国際平和学習プログラムを推進することを要望する。

1 Y-PORT事業について

- (1) 情報発信拠点「GALERIO（ガレリオ）」の設置目的について伺いたい。
- (2) 令和3年度のGALERIOの活用実績について伺いたい。
- (3) 令和4年度のGALERIOを活用した中小企業ビジネス展開支援について伺いたい。
- (4) 多分野の人材や学術機関等がGALERIOを積極的に活用できる仕組みが大切と考えるが、見解を伺いたい。

2 海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・SDGsの推進について

- (1) エコシステムという仕組みに対する認識について伺いたい。
 - (2) 海外エコシステムとの連携に係る市内企業等のニーズについて伺いたい。
 - (3) 海外活力の取り込みがどのようにSDGsの推進に貢献していくのか伺いたい。
- (意見) 海外との豊富なネットワークを有する国際局として、横浜から海外への飛躍と、海外から横浜への活力の取り込みを両輪で推進することを期待する。

3 (仮称) アジア事務所について

- (1) タイ政府内に事務所を置く利点について伺いたい。
 - (2) 反政府デモが心配されるバンコクでの駐在活動の安定性について伺いたい。
 - (3) シンガポールを選ばなかった理由について伺いたい。
 - (4) (仮称) アジア事務所は、長期にわたって持続可能な事務所となるよう取り組むべきと考えるが、副市長の見解を伺いたい。
- (意見) 移転後も、市内企業や市民の皆様にとって有益な海外事務所となるよう期待する。

4 世界を目指す若者応援事業について

- (1) 事業に対する評価について伺いたい。
- (2) 留学を検討する中高生に届くための広報について伺いたい。
- (要望) 広報が時代に合ったものとなるよう、適宜、見直しを行うことを要望する。

5 提案型海外都市派遣研修について

- (1) これまで実施された派遣テーマについて伺いたい。
- (2) 本市が直面する喫緊の課題について、国際局として派遣テーマを設定して募集するなど一層の工夫も必要と考えるが、見解を伺いたい。

6 姉妹都市オデッサ市について

- (1) オデッサ市の概要や特徴について伺いたい。
- (2) オデッサ市との姉妹都市締結の経緯について伺いたい。
- (3) ピースメッセンジャー都市として、世界の都市とともに、国際平和に向けたリーダーシップを発揮していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

7 核兵器廃絶に向けた取組について

- (1) 核兵器廃絶に向けたこれまでの取組について伺いたい。
- (2) 市民による平和に向けた取組への受け止めについて伺いたい。
- (3) ガーデンネックレス横浜の場を活用し、I C A Nのバラを紹介すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 市民への平和啓発には全庁的な協力・支援が必要と考えるが、副市長の見解を伺いたい。

8 国際局のこれまでの振り返りと今後の意気込みについて

- (1) 国際局開設7年間の振り返りとその所感について伺いたい。
- (2) 国際局開設10年目に向けた意気込みについて伺いたい。
- (3) 本市の発展に国際局の存在は欠かせないと考えるが、今後の国際局に対する期待について、副市長に伺いたい。